

伝えることは、 つながること。

フリーアナウンサー 水越恭子 Mizukoshi Kyoko



筑西市で生まれ育った水越さんは、一度は東京へ出たものの、再び地元に戻り、この仕事を続けてきました。人前で話すことが得意だったわけではありません。むしろ苦手だったからこそ、「できない自分を超えたい」という思いが、アナウンサーへの道を拓いたのです。

ケーブルテレビ、ラジオレポーター、報道記者を経て、フリーアナウンサーへ。

現場で鍛えられたのは、言葉の正確さと、人に真摯に向き合う姿勢でした。

「話す仕事は、準備がすべて。見えないところがいちばん大事なんです」。

現在は司会業を軸に活動しながら、防災士として、さらに気象予報士の資格取得にも挑戦しています。

明野から望む筑波山は、今も水越さんの原点です。

変わらない景色が、進む力となっています。

■ 水越さんのおすそわけは、
アナウンサーになりたい人にアドバイスすることです。

連絡先は、筑西市広報広聴戦略課 TEL.0296-24-2172